

## 「ニートの時期があつてよかった」。 そう言える日が、きっとやってくる。

世間には、ニートになってはいけない風潮がありますが、仕方がない事情もあります。

大学卒業後の就職に失敗して、ニートになることもあるでしょう。

就職できたとしても、会社の都合で突然解雇され、ニートになることもあるでしょう。

忙しい職務のせいで、精神的な病を患い、ニートになることもあるでしょう。

人生には、いろいろな事情があります。

必ずしも、本人のせいとは言い切れません。

歪んだ社会が生み出した一面もあります。

ニートになってはいけないかという、そうとは限りません。

ニートの時期が活かされることもあります。

大学受験に失敗した、浪人生のようなものです。

自分の信念を貫くため、1年間余分に勉強して、志望校を目指します。

自由に使える時間を最大限に活かして勉強すれば、次の入試には合格するでしょう。

浪人時代は、自分を見つめる時間もたっぷりあります。

自分の進路や将来を真剣に考えれば、これからの人生を有意義に生きることができるでしょう。

浪人という過去があつても、生かすことができれば、普通の人以上に素晴らしい人生になります。

ニートも同じです。

ちょっとした事情で、小休止しているだけです。

ニートは、自由に使える時間がたくさんあります。



ゆっくり自分の人生を考える時間になるでしょう。

ニートの時期に、自分の進路や将来を真剣に考えれば、人生の意味や目的を持って、再就職できるはずです。

ニートの時期が生かされるかどうかは、本人次第です。

だらだら過ごしてばかりではなく、人生を見直す時間にしましょう。

そうすれば「ニートの時期があってよかった」と言える日が、きっとやってくるはずです。

ニートの時期を有意義に使えば、普通に歩む人以上に素晴らしい人生が待っています。

## ニートが人生逆転する方法 その29

**ニートの時期に、自分や人生について、しっかり考える。**